

小規模多機能型居宅介護まこと

グループホームまこと

運営推進会議 議事録

令和6年1月24日（水）

14時～15時

小規模多機能型居宅介護まこと2階

司会 柴田砂奈江(小規模多機能型居宅介護まこと管理者)

鹿野英一(GHまこと管理者)

書記 工藤 未紗喜(GHまこと管理者)

参加者

- ・鈴木 裕子様(小規模多機能型居宅介護)
- ・本間 悟様(グループホームまこと)
- ・諸田 真知子様(東部北地域包括支援センター)

1 挨拶

ここ数回は紙面開催という形で、対面式の会議を開催する事が難しくなっており、久しぶりの対面式会議の開催となっています。

2 事業運営報告

- ・ 11月・12月のサービス利用状況 (小規模・グループホーム)
- ・ まことでのサービス内容、行事等 (小規模・グループホーム)
- ・ 利用者ご家族様からの声
- ・ 11月・12月の事故報告について
- ・ 地域包括支援センターからの声
- ・ 質疑応答 (小規模多機能まことより)

3 質疑応答 (意見交流)

- ・ グループホームまことより

4 その他

- ・ 小規模多機能、グループホームより
- ・ 町内会活動、地域交流への参加について
- ・ 今後の活動等

(2) 事業運営報告

■ 11～12月の介護度別サービス利用状況

(11月30日・12月31日付)

要介護	11月 小規模	12月 小規模	11月 グループホーム	12月 グループホーム
要支援1	1名	1名		
要支援2	0名	0名	0名	0名
要介護1	12名	10名	1名	1名
要介護2	8名	8名	5名	5名
要介護3	4名	5名	6名	6名
要介護4	1名	1名	5名	4名
要介護5	1名	0名	1名	0名
計	27名	25名	18名	16名

柴田「2023年11月から12月の介護度別サービス利用状況についてです。11月小規模まことは定員人数は29人の所、27名で稼働しています。内訳についてはご参照して下さい。12月に入りまして、利用人数が2名程減りまして、25名となっております。この中の内訳として、もう長く半年くらいなかなかお見え頂けないような状況で、利用実績がない利用者様1名をそのままサービス終了という形で、12月31日付けで行っています。その他につきましては、12月から長期入院をされた方がいらっしゃいまして、そのままサービス終了となりまして、定員29名ところ25名で稼働しています。」

鹿野「グループホームまことです。11月は1ユニット9名、総数18名で満床でした。12月に入りまして、16名で2名の方が退去となっております。1名はお薬調整の為の入院でそのまま退去となりました。もう1名の方は、お亡くなりになりました。退去となりました。現在は先日の23日に新入居者が入りまして、1月現在で17名となっております」

柴田「小規模の方は現時点での利用者数は26名で、空き人数は3名となっております。」

■ 小規模まことでのサービス内容・行事等

- ・ 11月 14日(火) おやつ作り(かぼちゃ団子)
- ・ 11月 16日(木) 昼食作り(焼きそば、水餃子スープ)
- ・ 11月 18日(土) インフルエンザ集団予防接種
- ・ 11月 21日(火) 防災センター体験
- ・ 11月 24日(金) まこと工作 ～フォトフレーム作り～
- ・ 11月 28日(火) まこと工作 (2F利用者) ～きめこみ～
- ・ 11月 29日(水) 防災センター体験
- ・ 12月 3日(日) 訪問美容

- ・ 12月 7日(木) まこと工作 ～クリスマスリース～
- ・ 12月 14日(木) まことクリスマス会(2F 住宅型入居者対象)

柴田「続きまして、サービス内容、行事内容についてです。小規模まことは11月中のサービス内容と行事内容につきましては、おやつ作り、昼食作りを毎月行っています。その他にも11月には工作フォトフレーム作り、2Fに関しましてはきめこみと言って、目打ちで布を押し込んでいくような工作を2Fの利用者様達と職員1名を指導として入り、皆さんで行っていました。その他外出レクで防災センター様の方に行きまして、地震体験というところで2グループに分かれて21日、29日で行っております。12月入りまして、7日にまこと工作でクリスマスリースを作っています。その他、忘年会・クリスマス会の予定を12月に組んではいたんですけど、12月2回程コロナウイルス感染者が出たことにより、時期を分けて隔離生活に入っております。1回目に関しては12月9日から17日まで。この時は通所のサービスを止めるような形で、訪問介護については既に感染した後の職員がご自宅の方に伺って、オムツ交換だったり、身体介護の方を行っております。その他に後半になりまして、12月23日から27日まで2Fの利用者様が感染をしまして、2Fが隔離対象となりました。実際、家族様と共に受診や外出に行ったりなどの制限をまことは取ってなくて、ご家族様も感染しながら、本人も感染したのもわからないで帰ってくるのもあって、はっきり断定はできないんですけど、そこから感染が拡大しまして、2回の隔離期間を要しましたので、クリスマス会と忘年会については中止をさせて頂きました。その代わりに1月26日、金曜日に、ささやかな利用者様の新年会ということで、お鍋を作り、お寿司を取りまして、代替日1月26日新年会をこの後予定しております。小規模まことは以上です。」

グループホームまことでのサービス内容・行事など

- ・ 11月 1日(水) カラオケ
- ・ 11月 2日(木) カラオケ、焼き芋レク
- ・ 11月 5日(日) カラオケ
- ・ 11月 8日(水) カラオケ
- ・ 11月 10日(金) 芋団子作り
- ・ 11月 12日(日) カラオケ
- ・ 11月 15日(水) カラオケ
- ・ 11月 16日(木) 各階対抗運動会
- ・ 11月 19日(日) カラオケ
- ・ 11月 23日(木) カラオケ

- ・ 11月 26日(日) カラオケ
- ・ 11月 29日(水) カラオケ
- ・ 12月 1日(金) クリスマスツリー装飾 1F
- ・ 12月 2日(土) クリスマスツリー装飾 2F
- ・ 12月 3日(日) カラオケ
- ・ 12月 10日(日) カラオケ
- ・ 12月 12日(火) コロナワクチン接種 7回目
- ・ 12月 13日(水) カラオケ
- ・ 12月 15日(金) カラオケ
- ・ 12月 17日(日) カラオケ
- ・ 12月 19日(火) カラオケ
- ・ 12月 23日(土) まことクリスマス・忘年会
- ・ 12月 24日(日) カラオケ
- ・ 12月 25日(日) 餃子作り
- ・ 12月 27日(水) カラオケ
- ・ 12月 30日(土) カラオケ

鹿野「グループホームまことです。だいたいカラオケを週に1、2回行っています。その他に11月2日に焼き芋レク。毎年恒例なんですけど、安納芋を取り寄せしまして、皆さんに新聞とアルミで包んでもらい、焼いて食べるというレクをやりました。11月10日、芋団子作り。これも芋団子を型を作ってもらい、おやつとして食べています。11月16日、1F・2F対抗の運動会をやりました。これも春と秋に毎年行っています。3ページに入りまして、クリスマスツリーの装飾です。12月1日を1F、12月2日2Fで装飾をしています。そして12日にコロナワクチンを接種7回目を行っています。12月23日にクリスマス、忘年会を行っています。今回、食事を節約しすぎて、ケンタッキーをいつも頼んでいるんですけど、丁度クリスマス時期ってパックしかなくて、いつもバケツで頼んでいるんですが、今回モスチキンにしたら皮がカリカリで硬くて不評で。あと12月25日に夕食のおかずで餃子を皆さん作って頂いています。以上です。」

柴田「ここまで行事、サービス内容についてご意見、ご意向はあれば頂戴したいなと考えておりますが、何かありますか？例えば、お母さんが日頃こういう事が好きだから、この中でもレクの一環としてしてほしいわということがあったり、あとは冬時時期ですが、今後、外出レクでこういう所どうですかなど意見があったらありがたいんですけども、いかがでしょう、本間さん。何かいい所ありませんか？」

本間様「こういうことをやってんだな、初めて参加したので。何かやって

ほしいとかは考えていません。」

柴田「ぜひ、次回の時でも何かご意見を頂ければありがたいと思います」

鹿野「面会の時でも、希望があればお伝えください」

柴田「鈴木さん、いかがでしょう？何かご希望があれば」

鈴木様「母、ゲームもそうなんですけど、何でも工作とか好きなんですけど、何か参加した日に一つでもゲームでも遊ぶだけじゃなくて、クイズとかドリルのようなものをやらせてほしいかなと思うんですけど」

柴田「現時点で小規模まことで通所の方をお引き受けする時間帯に、9時半から10時半くらいの間に来られるんですけど、来た順番に計算のドリルとか脳トレ自体はやっているんですけど、英子さんが見えなくなる時間が後半の方なので、確かにやる時間はないんですね。改めて英子さん自身に出していきたいと思います」

利用者ご家族からの声

小規模

柴田「今回、小規模から3つ出させてもらっています。ちょっとお恥ずかしい話も含まれているんですけど。」

- * 事業所を変えて間もなく、入院する事になりましたけど、『あそこ(まこと)がいい、あそこ(まこと)に帰りたい』って本当に言っていました。ここに来たら見違えるように表情も良くなって、笑うようになったし、言葉も沢山出てくるし、お風呂も嫌がらないで入れているし、本当にまことにして良かったです。

(H様 ご家族様より)

柴田「というありがたいお言葉を頂戴しております。その方、市内の別の小多規をつかっていたんですけど、なかなか入京拒否が強くなって、入浴に繋がられない。利用開始して1年後にやっと風呂に入れるように。週に1回、あるいは2週に1回くらい入れるかなという経緯があった方です。小多規同士の異動となりまして、変わったきっかけとしまして、まことがご家族様送迎であれば朝の6時から夜の9時まで長時間お預かりをするスタイルであることから、ご家族様がお仕事行く前にお母様をお預けになりまして、お仕事がちょっと遅くなりまして、19時頃に終わるんですけど。お仕事終わった後にお迎えに来るということが生活の中で可能だということで、小多規に異動になりました。そこから入退院をくりかえすんですけど、言葉も多く、たしかに笑うようにもなりました。入浴拒否もまことでは1度もなく、週に2回から3回入浴できているので、ご家族様にとっては安心して頂けたのかなと思っております。」

- * コロナになったからって、そっち(まこと)も大変かもしれないけど、こっち(家族)だって大変なんだ！事業所を変えるからな！ (S様 ご家族様より)

柴田「2件目、3件目についてはお叱りの言葉を掲載させていた炊きました。12月中に頂いた言葉です。」

柴田「ご家族様から苦情のような形で頂きました。先程お話ししたように、隔離期間を設けておりまして、外からのお引き受けをお断りしておりました。ただ、S様に関してはご自宅での訪問介護が毎日朝の9時から10時までの1時間、ご自宅に伺って、オムツ交換、更衣、整容動作、食事前の1時間を訪問介護として入っておりました。これは感染隔離中でも1日欠けることなく訪問介護の方には入っていたんですけど、通所を止めているということで、その他の長時間を結局ご主様が一人でオムツ交換、離床介助を含めて身体介護をされなければならない中でご主人様の負担も確実に増えていて、それに伴う苦情でした。また今後このようなことなければいいんだよってというような言われ方をされたんです。けど、こればかりはいつまたどこで感染が広がるかわからないのでお約束できない事をご説明させて頂きましたが、事業所を変えるというところで話が落ち着きまして、1月に入りましてナーシングホームコスモスさんの老健さんの方に3カ月のショートステイという形で1月中旬から入所されている状態です。」

- * 先日、母が入院した際にまことにTELをして、電話口に出た職員さんに母のケアマネの名前を確認したら、『いないんじゃないか』と言われました。その後、近くの人に確認してくれたみたいで伝えられた名前の呼び方がわからなかったようです。お宅の職員は自分の上司の名前もわからないですか？そんな事業所のことは、信用できませんよ。(H様 ご家族様より)

柴田「強いお叱りの言葉を頂きました。この時は年末の12月30日で職員も数少ない、私も夜勤明けで帰宅した後でした。電話口で対応してくれた職員が一番の新人職員でした。まず、そのままケアマネ資格は持っているんですけど、ここのケアマネが本人曰くその時は忘れてしまいましたと話をされていて。その他にもケアマネのフルネームを教えてくださいと家族様から聞かれたんですけど、私のことは柴田という名前を認識しているんですけど、下の名前が読めなかったみたいで。そんなに難しい字ではないんですけど、ご家族様の方に砂に奈良の奈にさんずいのエで何て読むんでしょうねと返してしまってようで。そこで強いお叱りを頂きました。年明けに退院される時にご家族様に事前にサービス担当者会議をさせて頂いたときにご家族様より経緯を伺いまして、再度謝罪をさせて頂きました。そんなことをする職員さんがいる所に母さんを預けようか悩んでいるんです。ただ母さん自体はまことさん自体を気に入っていて、他の事業所にする選択するとい

うことはないんですけど家族としてはちょっと不安ですとお叱りの言葉を頂きました。改めてこの職員については事の経緯を確認し、ケアマネのどういう存在なのか、小多規の介護事業所がどういう所なのか指導共に説明しました。しばらく接遇関係も含めて、電話口対応をこの職員が慣れるまで外れてもらおうと動いています。恥ずかしながら、今回家族からの声に掲載させて頂きました。以上です。」

グループホーム

- * 献身的に介護をして頂き、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今後ご迷惑をかけえる事があると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

(H様 ご家族様より)

- * 6ヶ月という短い期間でしたが、皆様には大変お世話になりました。またご迷惑もお掛けしました。ありがとうございます。

(S様 ご家族様より)

鹿野「この方は先程説明した12月に退去された方で、お薬調整の関係で長期で入院となりました。年齢もありまして90歳半ばだったんですけど、向精神薬が元々けっこうめいいっぱい飲まれていた方で、動いたり、声出したり、夜中寝なかったりということで、ご家族にお願いしまして、病院へ受診をしてもらいました。精神科の方で薬をこれ以上多くしたら命に係わるということで、入院されています。短い間だったんですけど、入院されて退所された方でした。」

- * 毎日の様子が確認でき、お知らせを楽しみにしています。訪問した際は、スタッフの方々が、温かく接して頂いているのが、ありがたく思っております。年末年始もどうぞよろしくお祈りします。

(Y様 ご家族様より)

鹿野「まこと通信とかお便りを毎月個人に出させて頂いています。あとはブログを見て頂いていると思うんですけど、個人情報で顔を出せない方以外は出来るだけ満遍なく顔を出して状況をお伝えできるようにしているので、もっと出してくださいという方がいらっしゃったら声掛けて下さい。」

- * 毎日大変お世話になっております。私も職員の皆様に感謝しつつ、無事に笑顔で新年を迎えたいと思っています。ありがとうございます。

(H様 ご家族様より)

鹿野「この方もいつも来て頂いている家族様です。」

- * 多くの行事を企画していただき、感謝しております。寒さが厳しくなってきました。スタッフの皆様、ご自愛ください。

(S様 ご家族様より)

鹿野「職員でレク委員を出して色々飽きないような企画を考えているんですが、なか

なか同じものになってしまったり、今は色々新しい企画を考えていきたいと思っています。こういうものがあるとかこういう所があるよなどあればぜひお聞かせください。」

- * 車椅子になりましたが、その時々を楽しんでいる様で安心しています。お手数をかける事が年々多くなってきていますが、来年もよろしくお願い致します。ありがとうございました。
(T様 ご家族様より)
- * 運営推進会議報告を拝見しました。アクシデント報告、補聴器の誤食に驚きました。多方面視点で可能性を考えた支援や工夫が必要ですね。コロナが5類に移行しても、まだまだ広く感染しており、インフルエンザの流行に加えて会社体勢に変更あり、職員の皆様も大変と思いますが、入居者の笑顔が増え、家族との絆も強まる事を期待し、今後も楽しい行事を企画開催してください。
(東部北地域包括支援センター 曹路地様)

鹿野「居室に入る際にスタッフで確認して補聴器を外してから戻ってもらう方だったんですが、スタッフのミスで外し忘れてしまい、午後の夕食前に起こしに行った際に口の中でペロペロしてまして、かじって粉々になっていました。それで病院に電話して、幸い電池を飲んでいなくてなんともなかったんですが、何か異変ありました救急搬送して下さいと指示もらいまして、その後は何事なく過ごしていました。やっぱり職員の確認ですね。日常でやる事はたくさんありますが、必ずやるべきやる事はやらないと。会議の方で確認しています。以上です。」

■ 11月・12月の事故報告について

	小規模 11月	小規模 12月	GH 11月	GH 12月
アクシデント	0件	0件	0件	0件
インシデント	6件	3件	9件	4件
ヒヤリハット	0件	0件	3件	2件

柴田「小規模まことは11月中インシデントが6件発生しております。内容としては転倒服薬時間帯のミス、自己申告の転倒もインシデントに入れています。液剤の飲み残しがあり、例えば10ミリなら10ミリを服用して頂かなければならないんですけど、半分程残ったまま終了としてしまったという事がありました。こちらも事故報告の対象とさせて頂いています。11月中にはインシデントのみで6件で、12月に関しても同じ職員の同じ利用者様での液剤の飲み残しがありました。その他は食事を食べている時に味噌汁の具を一気に飲んで、具が喉に引っかかり若

干の窒息状態になり、職員の方でタッピングを行い、口の中を掻きだし、呼吸が戻ってきたということがありました。ご高齢の方なので普段何気なく食べている方もいつひょんなことで窒息に繋がるというところで職員に関しては指導と周知を行っています。最後は通所の方で入浴の際にテープ型の貼付薬を張り替える方がいらっしやいまして、事前にご家族様はどこに貼るんだよと提示して頂いていたんですけど、その時の職員は目にはその文字自体は入っていたが、深く考えないで貼ってしまったということでインシデント報告をさせて頂いています。11月、12月の事故に関してインシデントしか発生していないことに不信感を持っている。12月のケア会議で職員の方に改めて何、何が事故相当するのか、いきなり中段階のインシデントが発生することがかなり危機的な状況であることを感じていることでヒヤリハットの報告件数を上げるように動き出しています。ヒヤリハットの報告は私たち管理職員が積極的に出していこうと話しており、どういうことがヒヤリハットに該当するのか分からない職員もいるので、情報共有の為にヒヤリハットを報告するんだということを改めて指導をし始めているところです。1月に関してはヒヤリハット報告が件数としてかなり上がってきているので、大きな事故に繋がる前に未然に防げればと思い、対応しております。」

鹿野「11月はインシデント9件、ヒヤリハットが3件となっています。インシデントについては薬関係が多くて、漢方の食前薬の服薬忘れと薬セットミスです。前日の夜勤者がセットし、遅番が確認をして、次の日にチェックするんですけど、入っている物が入っていないなかったり、入っていない物が入っていたりということでインシデントとなっています。食前薬の漢方については、看護師に確認して、食後でもOKという事で食後で服薬しています。他には転倒で、介助しながらのふらつきで、バランス崩して転倒しました。支えたので大きな怪我にはならなかったのですがインシデント報告を出しています。ヒヤリハットの3件については、車椅子の方でお薬が減薬されて動きが多くなり、立ち上がりも多くなっていう方でヒヤリハットを出させて頂きました。12月もインシデント4件、ヒヤリハットが2件となっています。インシデントにつきましては食後の薬で粉薬と錠剤がありまして、錠剤を粉碎して服用されるんです。その時は新人職員がいてテーブルに服薬後の空袋を置き、薬の飲み忘れがないように確認するんですけど、時間が経ってから薬セットをする前に新人職員よりこの薬残っているんですけどどうするんですかと聞かれまして、それで服薬していない事が発覚し、看護師に確認して服薬したということがありました。慣れている職員だったら忘れていたよと声掛けがあると思うんですけど、当事者は新人職員だった為、迷ったと思います。それを指導しています。他は転倒で、ヒヤリハットは主に立ち上がりですね。先程の方で受診毎に少しずつ減薬となり、調子が良くなりだんだんと見守りも密にしないと転倒の可能性があるという事でヒヤリハットに出させてもらいました。以上です。」

地域包括支援センターからの声

柴田「ここまででご意見頂けたらなと思います。諸田さんどうでしょう」

諸田様「ご家族様からのご指摘について確かにどちらも職員さんたちの忙しさもわかるし、24時間見ているご家族様の気持ちもわかるし。何とも言えない。ご家族様も負担が増えるからストレスもあるし、そういうところが利用できるわかっているのを通所の所が止められちゃったことで、ご家族様の見ななきゃいけない所の負担を軽減できるような配慮がなかなか小規模さんでは難しい部分も出てくるだろうなと思いますけど。まだまだコロナの影響が減っているわけではないので、今後、同じことが繰り返されるとは思うんですけど、どうやっていくか施設側でも考えていかなきゃいけないじゃないかなという風には思いますね。あとは、新人さんの対応がというところあるんですけど、印象が良い施設なのに職員さん一人の対応で施設側のイメージがガラッと変わってしまうのがもったいないと思うので、対応の仕方だったりとか、相手の方にしたら新人かベテランかわからない所がありますので、失礼ないような対応をして頂けるよう指導なり、色々しなければならぬのかな。相手が見えない電話でのやり取りなので表情もわからないし声のトーンで感じるものがあると思うので。いつから電話対応をさせるかですよね。」

柴田「そうなんですよね。」

諸田様「ずっと外しておくべきものではないのかな。」

柴田「変な話、若年層の職員であればある程度一から接遇に関しての指導が入ってきたりするんですけど、この方40前の方で、以前も就労経験がある方で大丈夫だろうと私の判断ミスが一番大きいんですけど。大丈夫だろうと過信してしまったんです。でも、急に予定外のことを言われるとパニックを起こしてしまうように。改めて聞いたらわかるんですけど、その時はいないんじゃないか、わからないんじゃないかと言う感じで返答してしまったというような本人の心境だったみたいなんです。ちょっと悩んでいます。」

諸田様「普通は対話している中で、私たちも皆さんも同じ方ではないので、電話対応でもしている中でも、あらって思う所が自分でもあったりするんです。みんなが意識して電話の相手の方との対話をする中でどうしたらいいのか、この言葉かけがだめだよなところをその時点で指摘出来ればいいんですけどね。日頃の電話じゃなくても、ご利用者様と対面していても、もしかしたらあるんじゃないかな。日頃の所から指導していくのがいいのかなー。」

柴田「見せてあげたいくらい。」

諸田様「悪気はないと思うんだけどね。」

鹿野「若年に限らずベテランの方も電話来てましたよと言ったので、誰からですかと聞いても、名前を聞いてない、言わないまま切っちゃったとかでどこにどうい

う対応したらいいのかわからない事があって。接遇って難しいと思うんですけど、新人に限らず定期的に教育訓練をした方が良いのかなと思いますね。」

諸田様「最低限お名前とご連絡先と必ず確認しておかないと引き継がれても対応もここに電話をしたらいいのかわからないのでそこは徹底したほうが良いですね」

鹿野「そうですね。またかけるって言ってましたよと言われても」

諸田様「それでもいいんだじゃ困るところですね。事故報告の部分では同じミスが何回も繰り返されているところがあったりとか、気になったのか食事の味噌汁と味噌汁の具が一気に入っちゃったっていうのが、味噌汁の具材はどういうものだったのかなっていう」

柴田「味噌汁用のお麩なんですけど、ズルっと入ってしまっって」

諸田様「そのあたりの工夫とか麩に限らず、そういうことがあるというところの学習だったりしていった方が良いのかなって。あと、先程の柴田さんが言っていたヒヤリハットの数が少ないのが。ヒヤリハットが挙がるのがだめではなくて、ヒヤリハットがあるから事故に繋がらなくて抑えられる傾向にあるんですけど、そこがちょっと業務に忙しくて挙げるのが大変という所が問題なのか、挙がると責められると思う所が問題なのか、そのあたりがどうなのかなと思いました。ヒヤリハットが少なければインシデントも少なくなるのではないのかなって。事前に押さえられるものなので。聞きながら思いました。温かい言葉を頂いて嬉しい限りの所もありますね。」

柴田「口伝のように言葉でこれ間違いちゃいましたとか、軽い感じで話してくる中にはいて、それは事故報告の対象で他職員に発信していかないと。あなただけじゃないと思うよと話をして、これは事故報告の対象なのかという所もあれば、先程の仰ったように報告書自体を挙げることを面倒と考える職員もいて。このくらいならパソコンで打つのも大変だし、まあいいかという所が横行している所だと思っていて、今月から本腰を入れて取り組んでいました。」

諸田様「はっと思ったことを箇条書きでも挙げれるところがヒヤリハットなので、そんな形で負担のない程度だったらみれるんじゃないのかな。」

柴田「ありがとうございました。次回の運営推進会議を楽しみにして下さいね」

諸田様「ヒヤリハットの数が上がりますように」

柴田「鈴木様はここまでご家族の声とか」

鈴木様「日誌がありますよね。担当の方によって私が書いている事とかを読んでくださって判を押して下さっている方もいらっしゃるんですけど、この方は見ていないんじゃないのかなっていう感じで、全然私の希望のことを一切触れていないことがあって。遡ってみて下さっている何名の方がいらっしゃるんですけど、その方からはちゃんと付箋で回答があって。あまり名前が挙がらない方は新人さんなのかなとか思ったりしているんですけど、こちらで書いた

のを読んでくださっているのかわからない事が不安なんです。だから常に判を押してくれている方の時は安心しているんですけど。この間もあったんですけど、母が汚してしまって、パットをこちらに借りたと言われて、その日は次の時に替えの持ってきてくださいと言われて持って行ったんですけど、それが月またぎだったせいか、パット代を請求されてきたので、そのことをお話しして、交換してくださいと言われてたから持って行ったんですけど話したら、聞いていませんでしたと言われて、だから意思疎通がないのかなって思っ。そして今回また母が汚してしまっみたいで、今回は多めに持っていったんですけど、それもだめでこちらの紙パンツも履いてきたんですね。その前に事前にお電話は頂いてたんですけど、その時にパットを当ててないのでお家に帰ったら当てて下さいという事があって、パット当てたんですけど、夜になって取り換えようと思ったらうちのじゃないからびっくりしちゃっ。だから、その説明もあっのかなって思っ。その分請求してくださいって日誌に書いたんですけど、一向に何もなくて。そしたらその時担当だった方からこちらのミスなので請求いたしませんって付箋が貼られてたんですね。そしたら、会計の方から電話がありまして前のパットを現物を頂いているのに12月の段階で請求からマイナスにする予定が忘れてしまったので、今月引こうと思ったんですけど、まことの紙パンツを使用したので相殺して頂いて良いですかということだったので、私としても気がついたんですけど、そちらの方で請求しませんって書いてあったんですけど言ったら、それも聞いていませんでしたって言われて。担当の方と会計の方と意思疎通がうまく出来ていないのかなって思っているところが気になってい。

柴田「確かに担当自体分かれていて、電話した職員もわかるんです。電話した職員からは報告を受けているのでわかるんですが、会計をした職員からは恥ずかしながら報告を受けていないなくって、どういう経緯でそうってしまったのかお答えしかねるんですけど。今後についてはお金に関する事なので、間違いないように改めさせて頂くのと、仰って頂いた通りに情報の共有が出来ていないなっ。今回の事故報告の内容もお話し頂いた内容もそれぞれ個で立っている感じで改めて共有できていないなっという所で反省する点だなっと思っました。極力このようなことがないように努めていきたいと思っますので。申し訳ありませんでした。本間様はどうでしょうか？」

本間様「12月に立ち上がれなくなっ、病院連れてってもらえませんかと言われていたんですけど、先生からはこれは内臓的な物じゃなくて打撲とか筋肉痛だと思っよと言われて。その後は治ったみたいで、ぶつけたのかなんのかかわからなくて。そういうことって結構あるのかなっと思っ。ずっと見ているわけじゃないから、本人にぶつけたのって聞いても、認知が入っているのでそんなことはないって言っているんですけど。もう忘れていないのかなっという感じで。

先生はぶつめたんじゃないの言っていたから。そういう事もあるんだなと。職員の方も多くいるわけじゃないので、ずっと見ているわけではじゃないからそれは仕方ないのかなってこっちもわかってるんですけど、そういう事もあるんだなと思いました。」

鹿野「その原因については、転倒したりしたらこっちもわかりますし、報告を挙げるので。ぶつめた部分に対して起きれないと言われたら、始めに確認するのが転んでないか、ぶつけていないか確認しまして、転倒などしたら内出血になるんですけどなんともなかったの、こちら何が原因かわからなくて。例えば寝ている体勢で起き上がる時に捻ったとかって思いまして。ほぼ自立なので評価が出来なくて、2週間分の痛み止めが処方されまして、服用後は今は何ともないので様子を見させて頂いて。」

本間様「内臓的な事でおかしくなったのかなって思って心配して、先生に相談したら血液もレントゲンも特に異常なかったのそれは良かったなって思ったので。四六時中見ているわけではないので、わかっているんですけど急に連絡来るとなんかあったかなと」

鹿野「ドキッとしますよね。なるべく何かありましたご家族報告していますので。部屋も近いので音がしたら大体わかりますので。今の所はわからないんですけど。」

本間様「大事にならなくて良かったと思っています。そういう事ってあるんだなって思って。」

鈴木様「それともう一ついいですか？」

柴田「どうぞ」

鈴木様「昨日もそうなんです、母が急に休むって言い出して休んだりとかして、お昼の用意とかしているのに、朝になって急に欠席してご迷惑をおかけしていると思うんですけど。母が気まぐれで、朝ご飯食べてから着替えるよって言っても、体中痛くて歩けないから行かないって言って。お昼の用意しているから頑張っていこうって言うんだけど、今日は寝ていますと言って、いつも迷惑かけて申し訳ないって思って。」

柴田「いえいえ。無理に連れ出すって言えば、ここが嫌な場所になってしまうので。ご本人があまり気分が乗らないわ、家に居ても差し支えなければご自宅に居て頂いても大丈夫です。」

柴田「包括さんから何かありますか？ひょうたん通信とかから」

諸田様「今回は4月から始まるのでないです。」

柴田「どなたかいらっしゃいましたらご紹介お願いします。」

諸田様「ありがとうございます。」

4 質疑応答（意見交流）

・グループホームまことより

鹿野「暖房を入れているんですが、建物が古くなったせいか温度を上げてもなかなか暖まらない。寒くなったら皆さん、鼻水とか咳とか出ているので。こちら辺は上手く調整し、水分も摂って頂いて、コロナもインフルエンザも流行しているのです。職員も気をつけながら生活をしていきますので。職員が少ないので、一人体調を崩して休むと他の職員に負担がかかるので、職員同士でカバーしてやっていきたいと思っておりますので、どなたか働きたい方でいらっしゃいましたらご紹介下さい。」

柴田「前日も紙面開催でなかなかお伝え出来なかったのですが、令和5年9月29日を持ちまして前代表山田から経営母体が株式会社リーベという所に経営譲渡が成立しまして、現時点では株式会社リハビリサポートまことはリーベの子会社という形で運営をしています。企業母体は札幌にありまして、障がい者をメインで行っている運営母体です。旭川や札幌、釧路にも障がい者施設があります。関東の方にもいくつか施設がありまして、会社としては大きな母体となっております。リハビリサポートまことの経営、考え方、事業所の方針の方はこのまま引き続き、変わらずサービス提供が出来るように方針については大きく変わる事はございません。細々した所が変更ありますけど、利用者様のサービス変更は今の所予定はありませんので、ご安心をして頂けたらな思っています。よろしくお願い致します。」

5 その他

・今後の活動について

(小規模多機能)

1月

- ・初詣(1月4日 釧路町八幡神社)
- ・昼食作り(定例 調理レクリエーション×2) 海鮮モダン焼と焼肉会
- ・お汁粉作り

2月

- ・節分の豆まき
- ・チョコ蒸しパン作り
- ・昼食作り(定例 調理レクリエーション×2)

(グループホーム)

1月

- ・初詣
- ・書初め、すごろく大会
- ・誕生日会

2月

- ・節分

柴田「今後の活動については行事をご参照下さい。1月につきましてはもう終了して
いますが、小規模まこと、グループホームまことの2月の行事予定は記載して
います。次回の運営推進会議も対面で予定しております。基本的には第3水曜
日に行っていましたが、次は春分の日祝日に当たってしまうので、前日の火
曜日に前倒しをして開催させて頂きたいと思っていますので、次回もお越し頂
ければなど。他に何か言っておきたいことがありましたら」

鹿野「先日、外部評価がありまして、議事録の内容についてここまで詳しく出して
いるところはないとお褒めの言葉を頂きました」

柴田「それを質疑応答で言わないと、何かありますか。他の所はどんな感じですか」

諸田様「担当三件くらい持っているんですけど、だいたい同じような事故報告があっ
て、利用者様からの声があって、行事があって、同じような内容ではあります」

柴田「なんか札幌の方がないだけなんじゃないですか」

諸田様「作るのが大変とか」

柴田「フォーマットがあるので、過去の情報を入れるだけなんで。例えば見づらい
とか、この書式だったらお堅い会議のようだとか。意見欲しい所は自由記載さ
せてとか。何かご意見はありますか。字をもっと大きくしてほしいとか。他に
ありますか」

鈴木様「来月プリンスである講習会、事前に予約しなければならないのですか？」

鹿野「お名前とご住所頂ければ、出しておきます」

柴田「では、長くなってしまいました。ありがとうございました」

次回開催予定日 令和6年3月19日(火) 14時 小規模まこと 2階リビングにて開催
※奇数月の第3週水曜日の予定でしたが、令和6年3月は祝日の為、火曜日となります。